

サンタ今年も来道か

今年も北海道にサンタは来ている。クリスマスシーズルの24日夜、そう思わせるような不思議な出来事が起こっていた。サンタ捜索チームが道内の各地で懸命の捜索活動を行う中、「トナカイの鈴」らしきものが帯広市内で発見された。ほかにも、同チームにはサンタ関連の発見情報が多数寄せられており、対応に追われている。

謎の首輪発見

「庭に大きな鈴が落ちていた。24日の19時ごろ、北海道新聞本社広告局札幌市中央区に置かれた捜索チーム本部に一本の連絡が入った。連絡の主は、帯広市在住の有村三太さん(40歳)。有村さんが「不思議な現象」に気付いたのは同日18時ごろ。自宅で2人の子どもたちとクリスマスパーティーをしていて、ときどき「た、外からジャンジャン」という音を聞き、カーテンを開けて庭を見ると、夜空に向かって駆けていくトナカイの後ろ姿があった。不思議な現象に「何となく」と先で何かを発見した。よく見ると、たかさんの鈴が付いた動物の首輪のようなもの

各地で痕跡相次ぐ

「庭に大きな鈴が落ちていた。また庭にはたかさんの動物の足跡と大きな足跡のような跡が残されていた。連絡を受けた捜索チームが現場へ急行すると、庭先にはその痕跡のような幅約15センチの直線が2本あり、首輪には直径4センチの鈴が16個付いていた。革の状態から、かなり使い込まれているものと判明。これはサンタのものに違いない。そう確信した捜索チームは、有村さんの許可を得て首輪を持ち帰り、詳しい調査を進めている。

三田育三本部長
今年の総括
同チームの精鋭、特捜班「S.A.N.T.A.」が、24日深夜、帯広市で陣頭指揮を執る。三田育三本部長は、24日深夜、帯広市で陣頭指揮を執る。三田育三本部長は、24日深夜、帯広市で陣頭指揮を執る。

市電でクリスマスパーティー実施
今月17日、札幌市電車で「北海道コカ・コーラ」が主催する「サンタと市電でクリスマスパーティー」が開催され、事前応募で選ばれた大塚アリスさん(25)が、子どもたち25人がクリスマスを楽しんだ。



民家で発見された謎の首輪。表面部分にはサビが付いており、年月を感じさせる。鈴を振ると、少し低く重厚感のある音がする



トラックのドライブレコーダーに映った謎の影

聖夜の不思議な現象が起ったのは、帯広市だけではない。函館市大森町の海岸沿いでサンタの笑い声が聞こえ、約19時30分ごろ、札幌市大通公園付近を走るコカ・コーラのトラック運転手が、夜空を駆け抜ける謎の影を発見。影はすぐに消えてしまったが、ドライブレコーダーを確認したところ、映像にはサンタとトナカイのような飛行物が映っていた。辺りで気付いた人は「いなくなった」と言い、トラックの運転手は不思議そうに話す。「信号待ちで夜空を見ていたら、まばゆい光に包まれた老人が横切るのが見えた。

サンタにニアミス？ ドライブレコーダーに影

とても幻想的な姿だった。これを真実のように、捜索チームには毎年「大通公園でサンタのような影を見た」と目撃情報が多数寄せられていた。厚別区に住む野村多さん(60)が昨年、同公園を撮影した写真にも、サンタクロースが右上に写っているように見える。サンタの目撃多発地点の一つ「エリアS.A.N.T.A」の中心部・大通公園で発見が相次いだことは、捜索チームに喜びと興奮を与えたが、決定的な証拠を押さえたものはいない。捜索重点地区の捜索方法は、今後大きな課題となりそうだ。



クリスマス市電でパーティーを楽しんだ子どもたち

道庁赤レンガに謎の文字

グレートサンタファン見物か



道庁赤レンガ庁舎上空に残された、謎のメッセージ=10日、参加者提供

サンタからのメッセージ。10日、札幌市内中心部で開かれた「北海道グレートサンタファン」の会場で謎のメッセージが目撃された。このイベントは、サンタの嗜好(好む)を歩き、参加費で、入院中の子どもたちにクリスマスプレゼントを贈るチャリティイベント。25日まで札幌市内の病院の約300人に、絵本やおもちゃなどが届けられる。約200人が参加し、札幌市役所から約1.2キロをパレード。不思議なメッセージが映されたのは、ゴールとなる北海道庁赤レンガ付近。参加者が写した写真の上部部分に、ナイストラナーメリック(サンタ)と読み取れる文字が現れた。複数枚撮影していたが、メッ

メッセージが入っていたのはこの一枚のみだった。同イベントの実行委員会に参加する北海道コカ・コーラポトリング(株)の担当者はこう話す。「イベントの趣旨に賛同したサンタがメッセージを残してくれたので、写真についてさらなる解析を進める。」

「サンタクロース」という言葉を聞けばきつと多くの人々が「赤い服を着て、恰幅(かっぷ)のよい、立派な白ひげをたくわえたおじさん」を想像するだろう。実は、このイメージ、コカ・コーラが広めたものであることを「保存」しようか。1931年の広告に、赤い服を着たサンタクロースのイラストを初めて登場させたコカ・コーラ。それが定着して、現在のサンタ像を作ったといわれている。

赤い服が語るサンタの魅力

服。子どもたちに見つからないよう、プレゼントをそっと届けるサンタの「仕事着」としては少々目立つかもしれないが、あれだけ派手な服装で世界中を飛び回っているにもかかわらず、なかなかその存在が明らかにならないあたり、サンタのすごさが表れているともいえる。ちなみに、今年のトレンドカラーは「赤」。クリスマスパーティーを開くなら、ドレスコードも赤で決まらう。

企画制作／北海道新聞社広告局
この広告企画はお子さまと楽しんでいただくため、夢の構成となっており、フレイクを多く含む場合があります。ご理解を賜います。来年もぜひご期待ください。



皆さんの「夢」の応募に感謝

どうしんサンタ捜索チームが、11月から本紙面で募集していた「ぶんちゃんサンタがあなたの夢かなえます」プロジェクト。サンタを信じる全道各地の子どもたちから、ハガキやお手紙が届きました。応募総数は221通。応募いただいた多くの夢は、今後の捜索の参考にいたします。

皆さんの「夢」の応募に感謝
どうしんサンタ捜索チームが、11月から本紙面で募集していた「ぶんちゃんサンタがあなたの夢かなえます」プロジェクト。サンタを信じる全道各地の子どもたちから、ハガキやお手紙が届きました。応募総数は221通。応募いただいた多くの夢は、今後の捜索の参考にいたします。

皆さんの「夢」の応募に感謝

皆さんの「夢」の応募に感謝